

IPO銘柄 フルッタフルッタ (2586・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
2586	100株	公募: 10.00万株 売出: 12.00万株 (OA3.30万株)	4,130円~4,290円 (23.5倍)	SMBC日興証券

■ 日程



女性中心に人気高まる健康フルーツ「アサイー」の輸入・加工を手掛ける

■ 事業内容

アサイーをはじめとするアマゾンフルーツの輸入、加工販売を手掛ける。主力は量販店やスーパーマーケット、コンビニなどへの、アマゾンフルーツを主原料とした自社ブランド製品の販売。「フルッタアサイー エナジーオリジナル」などのドリンクを中心に、冷凍商品やゼリー飲料の他、テレビショッピングによる「ダイエットシリーズ」も展開。他の商品に比べて高価格帯ではあるが、健康志向、本物志向の強い消費者から人気を集めている。外食店や食品メーカー向けの加工品販売や、「フルッタフルッタアサイーカフェ」などの直営店の運営も行っている。輸入食品製造販売事業の単一業態だが、売上高構成比では自社ブランド商品のNB事業部門が約6割を占める主力で、加工品販売のAFM事業部門が約3割、直販のDM事業部門が約1割。

■ 特徴

ブラジル連邦共和国バラ州のトメアス総合農業協同組合 (CAMTA) の日本総代理店となっている。CAMTAは、荒廃した土地を活用して樹木や果樹を育て、自然のシステムを模倣する農場を構成するアグリフォレストリーという農法を実践。持続可能な農業として世界から注目されている。カカオなど、フルーツ以外の商品の取り扱いにも拡大が期待される。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年3月期の非連結経常利益は前期比22.6%増の2億9,300万円を計画する。アサイーブームに乗ってNB事業部門が順調な推移となっている他、外食店や食品メーカー向けの加工品販売が拡大ピッチを速めている。輸入販売であるため、為替市場の円安は気がかり。

■ 定性分析

IPOマーケットで食料品株の人気は高くないものの、若い女性の間でブームとなっているアサイーの商品を手掛ける企業として知名度がある。流行ものが好きな株式市場には好意的に受け入れられる可能性がある案件と言えそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約11億円。株主にはベンチャーキャピタルの名前が多く、保有株の一部にはロックアップが掛かっている。ただ、12月17日は3案件同日上場だが、その中では一番の人気を集めそうな案件であり、十分に吸収可能な規模とみる。
(小泉健太)

■ 類似企業

フルッタフルッタ (2586・マザーズ)	予想PER23.5倍 (仮条件上限)
石光商事 (2750・JASDAQ)	予想PER210.0倍
神戸物産 (3038・東証1部)	予想PER14.7倍

■ 引受証券

SMBC日興証券、みずほ証券、野村証券、大和証券、マネックス証券、岩井コスモ証券、東洋証券、いちよし証券、エース証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	1,674	41.6	40	▲ 31.7	51	82.8	108.1	—
14年3月期(実績)	2,873	71.6	239	6.0倍	153	3.0倍	329.8	—
15年3月期(会社予想)	3,657	27.3	293	22.6	171	11.8	182.9	—

※ 14年 10月に株式分割 (1株→100株) を実施。13年 3月期、14年 3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	90,000	683	219	90	465.4	32.1	22.7
14年3月期	166,000	1,630	611	166	672.1	37.5	36.9

※ 13年 3月期および 14年 3月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	長澤 誠	457,000	46.10
2	グリーンアソシエイツ	60,000	6.05
3	ジャフコV2共有投資事業有限責任組合	44,000	4.44
4	杜山 悦郎	41,400	4.18
5	NVCC6号投資事業有限責任組合	37,200	3.75
6	投資事業有限責任組合NFPーストラ テジックパートナーズファンド	25,000	2.52
6	ニュー・フロンティア・パートナーズ	25,000	2.52
8	井手 謙治	21,000	2.12
9	荻野 恭子	20,000	2.02
9	芝川 洋	20,000	2.02
9	山浦 浩	20,000	2.02

経営陣

役職	氏名
代表取締役 社長執行役員CEO	長澤 誠
取締役 経営管理部管掌	杜山 悦郎
取締役 関西支社管掌	岩本 幹夫
取締役	瓜生 健太郎
常勤監査役	田端 三郎司
監査役	宮本 勇造
監査役	平山 誠

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載していません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会